

海外安全対策情報

【定期報告：10月～12月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 観光客を狙った犯罪が多様化、巧妙化しているため引き続き注意が必要である。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2018年10月～12月における邦人に対する被害の報告件数は2件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

- ア 10月20日午後11時ごろ、音楽コンサート (Ipotsoyi Spring festival) にて、発砲・死亡事件が発生した。現場は、N7のケープタウン・オーストリッチ・ランチという観光地で、一般的な邦人が家族連れで訪れることも十分想定される一見すると安全な場所だった。
- イ 10月22日、グリーンポイントで、イギリス国籍の50代男性が住んでいたアパートで血まみれの状態で遺体となって発見された。最後に生存が確認されたのは3日前だった。
- ウ 10月30日、グリーンポイントにある学校近くで子供の送り迎えをしていた男性が頭部を銃で撃たれ殺害された。この男性は闇組織の関わる裁判で弁護士をしていた。

(2) 強盗

邦人被害

- ア 10月20日昼12時半ごろ、当国在住の在留邦人が、ケープタウン空港近辺でスマッシュアンドグラブ被害に遭った。ナビゲーションを「ケープタウン空港」と設定せず、空港内にあるレンタカー会社に設定し、N2にて市内から空港に向かっていたところ、空港出口の1つ前の出口から降りるように案内された為、ナビに従い信号待ちをしていたところ、助手席側の窓を襲われ、乗車していた邦人のひざに置いていたジャケットを奪われ、手に軽い怪我をした。

その他の被害事件

- ア 10月4日朝、テーブルマウンテンの北の方面を登っていた登山者4名が、5人の男性にナイフを突きつけられ、縛られた後、服を脱がされ、所持品を盗まれた。被害者4人のうち3人はナイフで刺され、うち1人が病院に搬送された。容疑者5人のうち4人はすぐに捕まった。

- イ 11月7日、ワインバーグの小売店に強盗7人が押し入り、店員に銃を突きつけ、携帯電話、現金、飲み物等を奪って逃走した。逃走に使用した車と奪った物はアスロンで見つかり、3人の容疑者が逮捕されたが、残りの4人は未だ捕まっていない。
- ウ 観光地のテーブルマウンテンにあるキャンプ場にて10月、11月の2ヶ月間で3件盗難が発生し、運営者はキャンプ場運営を3月まで休止することを決定した。3件のうち1件は部屋に置いていた荷物の盗難で、夜に行われた。登山家ネットワークの担当者は山に登るときはグループで登ること、十分に充電された電話を持って登ることを呼びかけている。
- エ 11月17日朝、レイクサイドにあるゲストハウスの運営者が強盗に銃で撃たれ、また、6回ナイフで刺されて殺害された。当時宿泊していたドイツ人、スペイン人の旅行者は部屋の鍵を閉め、難を逃れた。パソコンモニターとテレビが2台盗まれた。
- オ 10月にロンデボッシュで盗難された小型バンが12月4日、盗まれた場所と同じ場所に停車され、容疑者が近くの民家に強盗に入ろうとしていたところを警察が見つかり、容疑者は車で逃走を図ったが、事故を起こし、逮捕された。

(3) 強姦

邦人被害

特になし。

(4) その他

- ア 10月9日午後、ケープタウン駅で電車が火をつけられ、大きな黒煙が上がった。火は2本の電車を燃やしたが、その後消し止められた。
- イ 10月15日から、ケープタウン市内を走る、MyCiti バスの運転手によるストライキが始まり、MyCiti バスの運行が一部停止しており、ストライキの行われている場所である、市役所前の道路も一部閉鎖された。18日にはストライキを行っていなかった運転手が行っていた運転手を人質にした。
- ウ 12月3日、観光地のチャップマンズピークの頂上で、写真を撮っていた女性が誤って転落し、死亡した。
- エ 12月22日午後、観光客もよく訪れる、ミルナートンのビーチで泳いでいた14歳の男子が波にさらわれて未だ見つからない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。